

## 「国際宇宙ステーション計画」の 評価指定の適否について（案）

平成15年1月21日  
総合科学技術会議  
評価専門調査会

総合科学技術会議は大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発について評価を行うこととされている。このうち、総合科学技術会議が必要と認め指定して評価を行う研究開発については、その指定の必要性を予め評価専門調査会で調査・検討することとしている。

このたび、評価専門調査会では、以下の研究開発について、総合科学技術会議が必要と認め評価を行う研究開発に指定すべきか否かの調査・検討を行った。

### 1 対象

今回の調査・検討では、評価専門調査会の議員・委員の意見に基づき、「国際宇宙ステーション計画」を対象とした。

### 2 調査・検討の方法

評価専門調査会において、担当府省及び研究責任者から当該研究開発について説明を受けた後、総合科学技術会議が必要と認め評価を行う研究開発に指定すべきか否かを検討し、結論を得ることとした。

第17回評価専門調査会（11月27日）

担当府省及び研究責任者からの説明

質疑応答

第18回評価専門調査会（12月20日）

指定すべきか否かの検討

第19回評価専門調査会（1月21日）

調査・検討の結論

### 3 調査・検討事項

総合科学技術会議が必要と認め指定して評価を行う場合、その指定の視点としては、「科学技術や社会経済の情勢の変化等により計画の大幅な見直しや改善が必要なもの」が考えられた。このため、米国での計画見直しを受けた全体計画の状況に加え、期待される効果と費用との関係等について説明を受け、これらを踏まえて指定すべきか否かを検討した。

### 4 結論

宇宙開発委員会において、米国での計画見直し等の環境変化に対応して利用計画や運用・利用体制の見直しを検討し、本年3月末を目途にとりまとめを行う予定であることから、その結果を踏まえて評価専門調査会において再度ヒアリングを行い、指定すべきか否かを調査・検討することとする。

なお、再ヒアリングにおいては、本研究開発の実施によって得られると期待される効果と費用との関係も聴取する。